

科目名 Subject	ゼミⅡ SeminarⅡ			教員名	河崎・内野・石川・平田・峯脇・ 佐藤亮・中根・過足・阿部	
開講年次	2	開講時期	通年	単位	1単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		◎	○	◎		○
科目の概要	美道を基本とし、「DP1知識・技能」「DP2主体的行動力」「DP3課題解決能力」「DP4多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力」「DP5日本の伝統文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力」を兼ね備え、状況に応じてこれらの能力を単一または複合的に捉え、自分や他者が豊かな人生を送るための考え方を説明、提案することを意識し、社会に出る前の自己形成を行います。そして美道プロジェクトと連動し「在りたい姿」「自己実現」を目指し、ディプロマポリシーに沿った行動ができる人となるための基盤を確立します。 またゼミでは、学習サポート・生活サポートの役割も担います。学習サポートでは、1年生の時と同じように引き続き「学び」を振り返ることを習慣化し、理解出来たこと、実践できたこと等予習・復習状況も含め、ペアメンバー・チームメンバーを頻繁に交代しながら繰り返し確認することで、更なる成長を意識していきます。また生活サポートでは、日頃の学生の課題・問題解決に向け、ゼミを担当する教員やゼミ生が互いにサポート役になり、卒業時の「在りたい姿」を常にイメージし、成長に繋げていきます。 加えて1年生をサポートすることで、自己の成長をアウトプットすることで、更なる「気づき」を得ることができます。					
授業方法	対面授業を中心に授業展開しますが、時にオンライン授業（同時双方）を導入する回も想定することもあります。その際は事前に通達します。					
授業の目標	・履修科目から6つのディプロマポリシーを修得している状況を毎週の授業で確認することができる。具体的には、自分自身の振り返りを第3者（ゼミ担任・ゼミ生）と共に共有し、多くの「気づき」を得ることができる。 ・チームビルディングや学苑祭等の際に主体的に、ゼミやクラスをはじめ他の学生と課題に取り組み、解決していきながら協働できる。 ・自分と他者を受容し、自分が考える「美しい生き方」とはどのようなことなのか、卒業時の「在りたい姿」とはどのような姿なのかを授業を通して意識し、他者に述べることができる					
時間外学習 （予習・復習）	毎回復習として、各ディプロマポリシーを再確認し、自分が到達しているルーブリックのステップを把握します。その際1週間で科目を通して修得できた「内容」と「気づき」を記録します。加えて他者から得た「気づき」を具体的に文字化し併せて記録として残し、1年を通して成長してきた自分自身を評価できる内容を纏めていきます。また履修科目の予習・復習が実行できているか否かも自己チェックをしていきます。予習としては次の1週間で、どのディプロマポリシーを意識して行動できるかを考え、具体的目標を立てます。この予習・復習に要する時間はおおよそ30分とします。 この他に、学苑祭をDP1～DP5の力を発揮及び高める場として捉え、授業内で計画や準備しきれないことや前日準備、当日運営をゼミの時間外学習とします。この時間には10時間程度を要します。					
教科書・教材	教科書	学修成果カルテの資料				
	教材	必要に応じて提示します。				
	使用設備・備品	PC、CD、DVD、ビデオ再生機				
	参考文献	必要に応じて提示します。				
評価方法	授業での積極的参加態度30%、学習成果カルテの提出状況30%、レポート30%、予習・復習10%の比率で評価します。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。					
	必要の際には、個別にコメントを返します。					
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、私的な携帯電話の使用、授業の妨げ等マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。自分の意見や他者への質問を積極的に出して授業参加することを望みます。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 1年生の振り返りと2年生の目標の共有をゼミ生で行う。卒業時に修得するDP6の内容を確認する。履修内容を確認する。	1年生で修得できた内容を振り返り、DPを意識し、履修科目のシラバスを具体的に把握することができる。	DP1～6、ルーブリックの内容を再確認しておく。各履修科目のシラバスの理解度を深め、予習として履修科目毎に修得目標をイメージする。(30分)
第2回	1年生と各履修科目の内容とシラバスを理解し、1年生と共に科目毎のDPを確認し、アドバイスをする。 (1/2年生合同ゼミ)	1年生が履修科目のシラバスを把握できることをサポートし、1年生の学修成果の予測を伝えることで、己の自己成長を確認することができる。	復習としてアドバイスしたことを振り返る。予習として履修科目毎に修得目標を明確に文字化する。(30分)
第3回	1年生のサポートを振り返る。 レポートの作成、提出方法を確認する。	前回の1年生サポートをした中での課題や改善点を挙げるができる。レポート作成・提出の方法や注意点を述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分) レポートを作成、提出する。(60分)
第4回	ゼミ長が集まりチームビルディングの初期計画を立てる。DPへの気づきをペアで共有、順次個人面談の中で、出席状況や課題提出状況を振り返る。	履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにて確認し、行動目標を立案できる。ゼミ長は初期計画(スローガン・流れの確認・次回ゼミでの計画の準備)が立案できる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第5回	チームビルディング初期計画に沿って各ゼミで計画後、ゼミ長が集まり詳細を計画する。DPへの気づきをペアで共有、順次個人面談の中で、出席状況や課題提出状況を振り返る。	各ゼミで初期計画に沿った内容の立案ができる。自己と他者を受容し、学生間・教員と学生とのアサーティブコミュニケーションを取ることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第6回	チームビルディングの準備をする。DPへの気づきをペアで共有、順次個人面談の中で、出席状況や課題提出状況を振り返る。	チームで協働して次週の準備物や役割等を挙げて準備ができる。履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにて確認し、行動目標を立案できる。	チームビルディングの課題を明確にし、解決に導ける準備をする。(30分) 自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第7回	チームビルディングの実践。	協働とは何かを理解し、DPを理解し、実践することができる。	2年スタート時から現時点での成長と今後の成長を考える。来週の目標・残り前期中の具体的目標を考える。(30分)
第8回	チームビルディングの振り返りを行う。また授業からDPへの「気づき」をゼミ内で共有し、学修成果カルテの入力・提出を行う。(2年 第1回)	チームビルディングからのDPの習得を確認すると共に、履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにデータ入力し提出する。次の目標を立案できる。	チームビルディングでの自分の役割を振り返る。(15分) 提出内容の再確認を行い、今後の具体的行動を考える。(30分)
第9回	学苑祭実行委員が集まり、スローガンを決める。各ゼミでペアワークを行いDPの習得状況を確認する。	実行委員はスローガン決定にアサーティブコミュニケーションを用いることができる。ペアで履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにて確認し、行動目標を立案できる。	決定スローガンを基に次週の各ゼミでの意見を考える。(30分) 自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックに繋げる準備をする。(30分)
第10回	学苑祭の各ゼミ(クラス)による出し物と全学イベント候補をゼミ内で挙げる。	スローガンに沿った各ゼミ(クラス)の目標・目的を決め、出し物決定ができる。全学イベントの案を目的と共に列挙できる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックに繋げる準備をする。(30分)
第11回	学苑祭までのスケジュール確認とゼミ毎の計画を立てる。 1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。確実に達成できる目標を意識する。	学苑祭までの流れに沿って準備計画を立案できる。1週間の授業から「気づき」をパートナーと共有し、自己の課題を理解することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックに繋げる準備をする。(30分)
第12回	学苑祭当日の動きを確認して予算計画、役割分担を考える。 1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。確実に達成できる目標を意識する。	学苑祭を具体的にイメージし、必要な役割を列挙できる。1週間の授業から「気づき」をパートナーと共有し、自己の課題を理解することができる。	学苑祭での役割について改めて考える(30分) 自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第13回	1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。確実に達成できる目標を意識する。出席状況や課題提出状況を確認する。次回の振り返り方法の確認とDP復習	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人で共有し、互いの課題解決を評価できる。1年生との振り返り内容を想定することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第14回	1年生と共に各科目の振り返りを行い、1年生の自己評価を受容する。 (1/2年生合同ゼミ)	1年生との合同ゼミ内で前期の振り返り、DPで修得できた項目、修得するために努力した内容、後期に繋がる課題を聴き、アドバイスすることで、自己の成長に繋げることができる。	前期の振り返りを行い、自己評価・他者評価を纏め、1年生の成長も含めて「気づき」を次週のゼミ内での発表する準備をする。(30分)
第15回	各自の修得した成果をゼミ内で個々に発表し、自己肯定・他者理解を行う。学修成果カルテの入力・提出を行う。(2年 第2回)	学修成果カルテにデータ入力し提出し、各自の成果を発表することで、前期の学びを受容することができる。	提出内容の再確認を行い、後期に向けての具体的行動や目標を考える。(30分)

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	前期の振り返りを再確認する。また後期履修科目のシラバスを理解する。	履修科目のシラバスを具体的に把握することができる。	各履修科目のシラバスの理解度を深め、予習として履修科目毎に修得目標をイメージする。(30分)学苑祭までのスケジュールの進捗状況を確認する。(30～60分)
第17回	後期履修科目で何を学び修得するかをペアワークで確認する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	パートナーと互いに必修科目・選択科目のそれぞれの期待と今後の成長を確認し、今後の学びを予測することができる。	履修科目の修得目標を明確に記す。(30分)アサーティブコミュニケーションを意識し、学苑祭までのスケジュールの進捗状況を確認する。(30～60分)
第18回	学苑祭の前日準備と当日の役割や流れを想定して準備を考える。出席状況や課題提出状況をペアで振り返る。	学苑祭実施に向けた具体的な準備ができる。自己と他者を受容し、アサーティブコミュニケーションを取り、協働できる。	他者の意見を傾聴し、自分の考えを纏める。(30分)自己の役割を認識し、具体的な行動を考え、準備をする。学苑祭前日準備～当日(8～10時間)
第19回	学苑祭についてゼミでの振り返りを行う。DPの習得状況を確認する。	学苑祭の課題や改善点を挙げるができる。自己と他者を受容し、具体的な行動例から、DP習得への「気づき」を得ることができる。	学苑祭での自分の役割を振り返る。来週の目標を考える。(30分)
第20回	DPへの気づきをゼミで共有する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業からの「気づき」をパートナーと共有し、「気づき」を述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックに繋げる準備をする。(30分)次回の1年生とのペアワークの方法を考える。(30分)
第21回	1年生と共に各科目および学苑祭の振り返りをペアで行い、自己評価し、各DP1～5で修得できた項目をあげる。出席や課題提出の状況を振り返る。(1/2年生合同ゼミ)	1年生との合同ゼミ内で授業の振り返り、DPで修得できた項目、修得するために努力した内容、今後に繋がる課題を考え自己評価や課題解決できる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第22回	1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。1週間の目標と成果も意識する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業からの「気づき」をパートナーと共有し、「気づき」を述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。ルーブリックと繋げる準備をする。(30分)
第23回	DPへの「気づき」をゼミで共有する。ルーブリックの提出を行う。(2年 第3回)	「気づき」をゼミで共有し、他者の価値観を受容できる。その「気づき」を、ルーブリックで提出することで、行動目標を立案することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し来週の目標を考える。(30分)
第24回	1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。先週の目標の結果も確認する。出席状況や課題提出状況を振り返る。平行してPROGも活用した個人面談も行う。	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人で共有し、互いの目標達成を受容することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第25回	1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。先週の目標の結果も確認する。出席状況や課題提出状況を振り返る。平行してPROGも活用した個人面談も行う。	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人で共有し、互いの目標達成のために具体的な行動を挙げるができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。(30分)
第26回	入学時から現時点までの成長の振り返りを行う。成長したところを自己評価すると共に、課題を見だし、解決策と今後への活かしを考える。	振り返りをパートナーと他のペアとの4人で共有し、互いの良い点を評価できる。また自己の課題を理解し、課題解決を考えることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。卒業までの目標を考える。(30分)
第27回	入学からの振り返りを文章化する。1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。確実に達成できる目標を意識する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人で共有し、自己の課題への取り組みを評価し、成長を促すことができる。	文章化した振り返りを検討し、加筆修正を行う。(30分)自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第28回	入学からの振り返りの文章を精査する。1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有し、他者の成果にも着目する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人で共有し、互いの課題解決を評価できる。	精査した振り返りの文章から卒業後への活かしを考える。(30分)自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第29回	修了レポート作成	入学後の2年間の成長を振り返り、DPとの関連を述べ、自己の習得した能力の活用を想定できる。	2年間の振り返り文章と、自己評価・他者評価を纏め、レポートの見直しを行う。(60分)
第30回	DP6のステップ4を意識し、各自の2年間で修得した成果をゼミ内で個々に発表する。またルーブリックを提出する。(2年 第4回)	レポート並びに学修成果カルテを提出し、2年間の学びを整理し纏めることで、自分が考える「美しい生き方」を述べるができる。	提出内容の再確認を行い、2年間の学修成果を振り返り、社会に羽ばたく準備をする。(30分)